

## 第8回受賞者が

## 四代目 旭堂 南陵さんに決まりました

近代文学に大きな影響を与えたにもかかわらず、埋もれてしまっていた講談の速記本を約50年かけて蒐集され、その研究によって博士号を取得されるなど、四代目 旭堂 南陵さんの活動は高い評価を受けています。



## ◆ 申 込

12月9日(月)から住所・名前・電話番号・参加人数(3名まで)を電話・FAX・メールで下記事務局へまたは、市ホームページから※申込者には後日、参加券を郵送します。

## ◆ 申込先・問合せ

水木十五堂賞運営協議会事務局 (市役所企画政策課内)

(☎ 53-1160・☎ 53-1049・✉ mizuki@city.yamatokoriyama.lg.jp)  
<https://www.city.yamatokoriyama.nara.jp/>

授賞式・記念講演を  
開催します

参加無料  
要申込

◆ 日 時 令和2年2月8日(土)  
13時30分～

◆ 場 所 DMG MORI やまと郡山城ホール

- ・授賞式(賞状、記念品、副賞の授与)
- ・受賞記念講演(四代目 旭堂 南陵さん)
- ・記念座談会(予定)

四代目 旭堂 南陵(第8回水木十五堂賞受賞者)

神崎 宣武(旅の文化研究所長)

岡本 彰夫(奈良県立大学客員教授)

武田 佐知子(大阪大学名誉教授)

上田 清(大和郡山市長)

## 水木十五堂(要太郎)とは…

大和郡山市の偉大な先人水木十五堂は、40数年にわたり豆腐町に居を構え、奈良県尋常中学校(現郡山高校)教諭、奈良女子高等師範学校(現奈良女子大学)の教授などを務める傍ら、大和の歴史や地誌の研究を進め、漢詩・和歌・俳句・茶道・演劇等を通じ、多くの文人や芸術家と交流し、幅広い分野で蒐集。いつしか「大和の水木か、水木の和か」と呼ばれ、大和を代表する研究者、文人としての地位を確立。1938年逝去、享年74。



水木 要太郎

(1865～1938)

「収集家100年の軌跡

—水木コレクションのすべて」

(国立歴史民俗博物館展示図録より)



## 第22回 こおりやま歴史フォーラム開催

募集

～浦上キリシタンと大和郡山～(申込不要)

日時＝令和2年1月18日(土)

13時～16時30分(受付12時30分～)

場所＝DMG MORI やまと郡山城ホール 小ホール

費用＝入場無料

※ただし、参加者多数の場合は先着300人とさせていただきます。

問合せ＝都市計画課 文化財保存活用係(内線733)



## 親子わいわいコンサート

募集

(ちょっと早いクリスマスコンサート)

赤ちゃんからお年寄りまで全ての人を対象としたコンサート。みなさんがよく知るクリスマスソング、ポップス、クラシック、アニメソング等をオカリナとサクソの音色でお楽しみください!(参加無料・申込不要)

日時＝12月15日(日)14時～(開場13時30分～)

場所＝平和地区公民館 多目的ホール 対象・定員＝一般市民、250人

問合せ＝平和地区公民館(☎52-2346)(水・土・日曜と祝日を除く9時～17時)

## 広 告 欄